

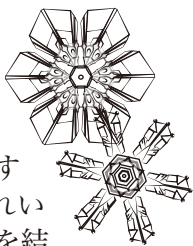


タンネウシ 2月号

2月の博物館講座

雪の結晶と流水観察会

2月15日(土) 9:00~12:00



雪の結晶は暖かい場所ではすぐに溶けてしまいます。そのきれいな形を保存するために特殊な液を結晶の細部まで染み込ませ、樹脂で固めて複製を作ります。自分だけの結晶レプリカをつくってみましょう。また、海岸で流水の観察も行います。切り取った流水と普通の氷の結晶構造の違いを、実験室で観察します。

- 定員：7名 ●博物館集合解散 ●要申込み
- 参加費：大人200円、小中学生無料
- 持ち物：防寒着、手袋、帽子
- 担当：合地学芸員 ※悪天中止

ミニコラム：斜里前浜の流水観測

いよいよ流水がやってきました！今年の流水初日は斜里の前浜、ウトロともに1月22日でした。この観測は、知床博物館と知床財団が気象庁の定義にしたがって毎年行っています。流水が近づく時期と去っていく時期は、見逃さないよう職員が声を掛け合います。

観測年	流水初日	接岸初日	流水終日
2013	1月09日	1月16日	4月4日
2014	1月22日	?	?

- 流水初日** 初めて陸地から肉眼で流水が確認された日
- 接岸初日** 水で海面が閉ざされ船が航行できなくなった日
- 流水終日** 視界内の海面で流水が見られた最後の日

「道の駅しゃり」でひきつづき開催！ 神秘のゆらめき 蟹気楼・幻氷写真展

2月1日(土)から3月中旬まで

好評のため博物館移動展として開催します。市街地におでかけの際お立ち寄りください！

●9:00~19:00 ●入場無料

トピックス ○博物館の窓口にいる高橋さんが、結婚のため苗字が変わり、斉藤さんになりました。○1月16日の「カフェ・ド・カワソ」は満員の盛況。ユーラシアカワソの生息地サハリンには知床よりも濃い自然が残り、美しい映像にため息がもれました(佐藤)

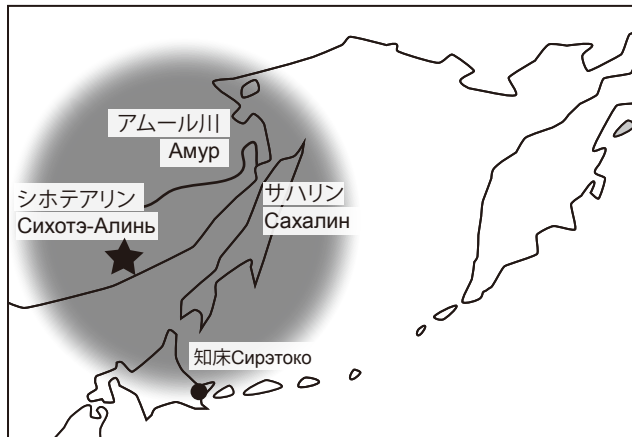
2月の休館日は3・10・17・24日の月曜日と11日(火)の祝日です

ロシアを身近に感じよう

連続講座「となりのロシア」

2月25日(火)~28日(金) 18:30~20:00

※1回のみ参加も可能



日本海をはさみ北海道に最も近い外国、ロシア極東地域は、自然や文化に北海道と共通点があります。地史的なスケールと考古学的な視点からサハリンと北海道の歴史的な関連を紹介します。また、北方民族ウイльтаや絶滅の危機に瀕しているアムールトラの話題など、ここでしか聞けない連続講演会です。

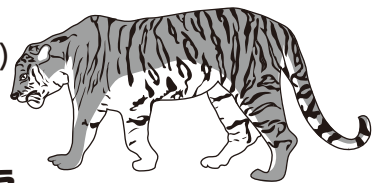
- 場所：交流記念館ホール
- 参加無料、申込み不要 ●協力：(公財)知床財団、知床博物館協力会、北海道立北方民族博物館

1日目 2月25日(火)

ロシアの世界遺産

シホテアリンに

生きるアムールトラ



Амурский тигр
アムールトラ

講師：スヴェトラナ・スティリーナ
(シホテアリン国立自然保護区副所長)

2日目 2月26日(水)

環日本海北回廊地域における先史文化交流

—アムール下流域とサハリンの考古学調査—

講師：熊木 俊朗
(東京大学・北海文化研究常呂実習施設 准教授)

3日目 2月27日(木)

サハリンの先住民ウイльтаの伝統文化と現在

～言葉の調査・研究から

講師：山田 祥子(北海道立北方民族博物館学芸員)

4日目 2月28日(金)

北海道、サハリンと沿海州の地質形成史

合地 信生(斜里町立知床博物館学芸員)